

平成 30 年度 相互理解連携論

☆ 相互理解連携論は、「相互理解」を中心に、個人、集団、地域等の「連携」の基礎や実際について、保健医療福祉分野以外も含めて広く学習する機会としています。

○平成 30 年 12 月 4 日(火)「相互理解の基本」

相互理解とは何か

相手を理解する

自分を理解する

相互理解を深めるために

対人認知力の向上のために

コミュニケーション力向上のために

◆イメージ交換ゲーム

参加者の相互理解を深める

相互理解の基本として、人の見方のポイントを理解する

相手に対する見方の癖や、先入観によって対人認知がずれることを理解する



○平成 30 年 12 月 11 日(火)「連携をすすめる上で必要なスキル 1」

講師 孫 大輔 氏 (東京大学医学教育国際研究センター)

◆医療コミュニケーション・ファシリテーション

対話を通じたヘルスプロモーション

アサーティブ・コミュニケーション



◆シネメデューケーション・・・映画による医学教育、映画や映像の短いシーンを見て小グループでさまざまなテーマについてディスカッションする。

「レナードの朝」の一部を鑑賞し、ディスカッションしました。



『看護師としてのプロフェッショナルを考える』

*小規模病院の看護師の皆さんと一緒に受講し、ディスカッションしました。

参加した看護師さんより・・・

・学生さん達の『看護師とはどのような職業か?』の問いに対する意見が、とても参考になりました。「コミュニケーション能力が必須」「患者・家族のパートナーになれる」「患者さんの不安を軽減する」等々、看護師として勤務してきて、忘れていた部分を思い出させてくれました。

・看護師の職業について、深く考える機会がなかった気がします。これからの看護人生の中で問い続け、深めていきたいと思います。



○平成30年12月18日(火)「連携をすすめる上で必要なスキル2」

情報の共有によるコラボレーション
グループにおける自分の役割について

◆コラボレーションゲーム

個人の持つ情報や能力を共有化して、コラボレーション（共同作業）をすることの必要性を知る
課題達成にあたり、グループ内での思考の共有化を図りながら進めることの難しさを理解する
グループ内でコミュニケーションをとり、計画的に課題達成のために話し合いを進める方法を学ぶ

